

平成30年度 地域福祉フォーラム

東京力×無限大

地域住民による懇談会や町会・自治会、様々な関係者がつながり活動するネットワークは、地域の特性やニーズに応じた多様な小地域福祉活動を生み出しています。こうした活動は、制度による支援だけでは対応が困難な孤立死、虐待、生活困窮、多国籍化などによる福祉課題の予防や解決につながっており、ますますの展開が期待されています。

多様で多彩な人材や社会資源が集まる大都市東京ならではの可能性や課題に目を向け、誰もがよりよく暮らせる地域づくりについて、共に学び合う機会とします。みなさまのご参加を、心よりお待ちしております。

日時：2019年3月10日(日) 午後1時～5時(開場：午後0時30分)

会場(受付)：飯田橋レインボービル7階 大会議室

※分科会は上記のほか、同ビル内各会議室にて開催します。

参加対象：地域福祉に関心のある方

(地域福祉に関わる仕事・活動に関わっている方、学生、一般市民等どなたでも参加できます)

参加費：500円(当日受付でお支払いください) 定員：230人

基調講演

午後1時～2時15分(開場：午後0時30分)



テーマ：つながり合う東京 ～私たちが創る地域共生社会～

講師：諏訪 徹さん(日本大学 文理学部社会福祉学科 教授)

プロフィール

1988年4月に全国社会福祉協議会に入職し、高年福祉部、東京都社会福祉協議会・東京ボランティアセンター(出向)、全国ボランティア活動振興センター、中央福祉人材センターに勤務。2008年6月に全国社会福祉協議会を退職。

2008年7月より厚生労働省社会・援護局総務課社会福祉専門官(地域福祉課・福祉基盤課併任)。厚生省において社会福祉士制度、介護福祉士制度、共同募金等を担当。2013年3月に厚生労働省を退職。2013年4月より現職。

分科会

午後2時30分～5時 ※詳細は裏面をご参照ください

分科会	タイトル	会場	定員
①	多国籍の方々との共生 ～地域の一員として共に支え合うために～	レインボービル内 会議室 ※当日ご案内します	50人
②	複合的課題を抱える世帯への支援 ～ワンストップを地域のワンステップに～		80人
③	“C”コネクト☆ ～私たちがつながる 地域がつながる～		50人
④	施設の力が地域の力に ～本当の地域共生社会を創るために～		50人

●主催 ● 東京都内社会福祉協議会職員連絡会 (企画運営：地域福祉フォーラム部会)
社会福祉法人東京都社会福祉協議会

●問合せ ● 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉担当
〒162-8953 新宿区神楽河岸1-1 (TEL) 03-3268-7186 (FAX) 03-3268-7222
(E-mail) chiiki_07@tcsww.tvac.or.jp

～この事業は、東京都共同募金会による配分金により開催します～

多国籍の方々と共生 ～地域の一員として共に支え合うために～

分科会
①

私たちの東京で暮らす外国人は2018年1月時点で、52万人以上、190か国以上に渡っているとされています。さらに、日本国籍を持つ外国にルーツのある子どももいます。言語や文化、そして生活習慣などの違いは、地域で暮らしていく中でさまざまな課題として出てきています。そこで、東京オリンピックを間近に迎える今、国籍や民族等の違いの垣根を無くして、地域の住民として共に支え合いながら暮らしていくための取り組みを一緒に考えてみませんか!

コーディネーター／加山弾氏(東洋大学教授) 報告者／●信田将臣氏(認定特定非営利活動法人多文化共生センター東京事務局スタッフ)
●新居みどり氏(特定非営利活動法人国際活動市民中心(CINGA)コーディネーター)

複合的課題を抱える世帯への支援 ～ワンストップを地域のワンステップに～

分科会
②

「高齢者世帯の相談から家族の障がいや多重債務などの課題もみえてきた…」このように、ひとつの相談が世帯の抱える複雑な背景にたどり着くことも少なくありません。専門職が課題を解きほぐし、支援をしながら地域での生活につなぎ直した事例などを紹介します。縦割りの福祉制度の壁を超えるために何が必要なのか、専門職の役割とは。また、地域課題の発見や見守りには欠かせない住民の方と専門職との協働のあり方など、事例を通して一緒に考えませんか。個人支援、地域支援のためのヒントをお土産に、ご参加お待ちしております。

コーディネーター／諏訪徹氏(日本大学教授) 報告者／●田中慎吾氏(豊島区社会福祉協議会地域相談支援課コミュニティソーシャルワーク担当チーフ) ●山田恵子氏(船橋市スクールソーシャルワーカー、早稲田大学ほか非常勤講師、一般社団法人子ども・若者応援団理事) ●四ヶ所誠一郎氏(大田区生活再建・就労サポートセンター JOBOTA顧問)

“C” コネクト☆ ～私たちがつながる 地域がつながる～

分科会
③

Cには地域、コミュニティ、チャレンジという意味が込められています。さて、地域福祉の前提には「地域のつながり」がありますが、地域のつながりが希薄化していると言われていた今、東京ではどうつながるか、どうしたらつながれるかを考え、試みることから始める必要があります。そこで今回は、地域の実情に合わせて交流やつながりづくりを精力的に行っている方々をお呼びし、多世代交流・多領域交流という視点も含めて、誰もが安心して暮らせる地域に必要なことを考えていきたいと思います。明日からの活動のヒントに♪

コーディネーター／広石拓司氏(株式会社エンパリック代表取締役) 報告者／小林孝氏(コープ南砂助け合いの会事務局長)[江東区] ●吉田博氏、村上照子氏、木下美江子氏(高島平三丁目町会「多目的サロンつくし」)[板橋区] ●北村直己氏(町田市立町田第一小学校お父さんネットワーク)[町田市]

施設の力が地域の力に ～本当の地域共生社会を創るために～

分科会
④

施設があるから地域活動が広がる。そんな視点で考えた事はありますか?施設がこれまでに果たしてきた役割は何でしょう。そしてこれから、施設が果たしていく役割はどういったものになるのでしょうか。地域の中での施設の居場所とは、そして施設が地域住民の居場所になるとは。障がい者施設の取り組みを知り、改めて、同じ地域で共に暮らして行く住民同士であることを確認し合い、共に支え合う地域づくりのきっかけを見つけましょう。

コーディネーター／山下望氏(社会福祉法人南風会常務理事・かすみの里施設長) パネラー／●伊藤善尚氏(社会福祉法人ときわ会地域生活支援センターあさやけ所長) ●平井寛氏(社会福祉法人東京緑新会多摩療護園園長) ●小林由美子氏(社会福祉法人すみれ会統括ディレクター)

参加申込

●2月22日(金)締切

以下により、**FAX 03-3268-7222** または **メール chiiki_07@tcs.w.tvac.or.jp**宛にお申込み下さい。希望多数により第1希望以外の分科会をご案内する場合は、3月5日(火)までに、ご記入いただいた連絡先へご連絡いたします。連絡がない場合は当日、直接会場にお越し下さい。

ふりがな 個人名	分科会番号		所属または普段の活動 (例) 社協職員、民生委員、ボランティア活動者	主たる活動地 (区市町村名)
	第1希望	第2希望		
連絡担当者 氏名	連絡先		TEL E-mail	FAX
手話・要約筆記が必要な方は○をつけてください		手話・要約筆記(名前:)		

会場アクセス

○飯田橋レインボービル

(新宿区市谷船河原町11)

JR「飯田橋」駅西口改札または地下鉄B3出口から徒歩6分

※地下鉄は有楽町線・南北線・東西線・大江戸線利用

